

死亡災害根絶 非常事態宣言

福岡県内における本年7月末時点での全業種の労働災害による死亡者数は15人となり、建設業においては、全業種の半数を超える8人が亡くなり、かつ、昨年1年間の死亡者数と並び、極めて憂慮すべき深刻な状況である。

働くすべての人の生命を守ることは、私たちの揺るぎない責務であり、職場において、労働災害、特に尊い命を奪う死亡災害は、決してあってはならないものである。

この事態を極めて重く受け止め、労働災害の撲滅と労働者の安全確保のため、労使をはじめ、すべての関係者が一丸となり、取組をすすめることにより、死亡災害の根絶を期するものである。

ここに「死亡災害根絶 非常事態宣言」を発令する。

令和7年8月1日

福岡労働局長

千葉登志雄